

「青森市障害者計画」フォローアップに対する意見について

項目	ご意見の概要	市の考え方
計画の基本理念、 横断的視点、基本 方向と施策の体系	○もっと手話でコミュニケーションできる環境づくりが必要。 ○ろうあ者に対する理解が不足している。もっと市民に啓発する必要がある。	計画へ反映
	○「基本理念」実現のためには、すべての節・項に聴覚障がい者や手話のことに関する記載が必要。 ○「ハンセン病」に対する理解の促進だけでなく「聴覚障がい者や手話」も入れてほしい。	記述を整理
	○民生委員は、ろう者と手話を知らない人が多く、役割をはたしていない。 ○広報等で障害は「害」ではないという認識を、折に触れて周知する必要を感じる。	実施段階検討
第1章 互いを尊重し支え 合う社会の形成	○ノーマライゼーションよりもインクルーシブの名称の方がよいのではないかと。 ●ろうあ者と聞こえる方とのコミュニケーションの部分が、わかりにくい文面である。	記述を整理
	○福祉読本を配布して終わりではなく、障がい当事者から話を聞く体験が必要。 ○福祉読本を配布しているが、その結果、どの様に理解されているか評価する必要がある。	実施段階検討
第2章 障害者の安全・安 心の確保	○地域で支え合う体制の充実のため、ろう者にも参加参画させてほしい。 ●障がいのある方を対象にした消費者教育の実施状況の検証と、出前講座の具体的な検討を要望する。	実施段階検討
第3章 障害者の地域生活 支援の充実	○もっと相談支援に関する情報を発信する必要がある。 ○相談支援体制をもっと充実する必要がある。	計画へ反映
第4章 障害者の自立した 生活の促進	○スポーツ施設は、ろう者にも利用しやすい施設とするべきである。 ○文化活動への支援を行う必要もある。 ●就労移行支援事業の利用は少ないため周知を図る必要がある。	計画へ反映
	●虐待防止のためには、第3者委員会やオンブズマン等の設置が重要である。	実施段階検討
計画全般	○身体・知的・精神だけでなく、聴覚障がい・視覚障がい・内部障がい・肢体不自由など少数でも区別してほしい。	記述を整理

●は、第1回分科会で出された課題等